

2022年 3月 25日

新潟工科専門学校
校長 仁多見 透 殿

学校関係者評価委員会
委員長 大場 秀樹

学校関係者評価結果報告

2020年度自己点検評価について、下記のとおり学校関係者評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 大場 秀樹 (株式会社 総合資格 新潟校 学校長)
- ② 本間 潤一 (株式会社 クレイズプラン 専務取締役)
- ③ 近藤 一彦 (株式会社 イートラスト 取締役会長)
- ④ 小林 恵一 (株式会社 イートラスト 専務取締役)
- ⑤ 竹田 隆行 (学校法人大彦学園 開志学園高等学校 副校長)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回委員会 令和 3年 9月 17日 (会場 新潟工科専門学校)
- 第2回委員会 令和 4年 3月 17日 (会場 新潟工科専門学校)

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標①について

指導方針、カリキュラムに従って短期間に豊富な知識と各種技能を修得するため、ハードな学習になるが確実に理解することに努める。
⇒指導体制や授業計画及び昨年度教育実績から適切に実施されてきていると判断する。

2 重点目標②について

学習の基礎は徹底的な反復にあり、授業中に完全に理解するよう努めることは勿論、予習、復習も絶やさないことに努める。
⇒学習姿勢には依然個人差があるように感じる。ほとんどの学生が学習習慣を身に付けられるよう引き続き努力してほしい。

3 重点目標③について

立派なスペシャリストを目指すという目標を常に念頭において学習することに努める。
⇒卒業後の自分を意識した就職活動を実施してほしい。教育課程編成委員会で提案されている人材像を学生に意識してほしい。

4 重点目標④について

パソコン等を積極的に活用し、学習することに努める。
⇒令和1年度もi-padを活用しているが更に教育効果の高い活用法を検討してほしい。又、建築士学科、建築デザイン科、インテリアデザイン科においては最新のCADソフトを導入し実務型教育を実践している。更に建築デザイン科においてはDX推進に取り組むことを期待したい。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

1-1-1 理念・目的・人材像は、定められているか。

⇒理念・教育目標の浸透度は不明であるが、明確に定められており問題は無い。

評価：3とする。

1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか。

⇒育成人材像については企業及び団体等が参画する教育課程編成委員会で協議し求められる人材像・技術・知識・資格等が明確となっており社会のニーズに適合している。

評価：3とする。

1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。

⇒学校長が将来構想を明確にしていると判断する。但し、引き続き保護者・学生・業界等への周知徹底を図る必要があると同時に高校生向けにも発信しては如何か。

評価：3とする。

2 学校運営

2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

2-6-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

3 教育活動

3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。

⇒教育課程編成委員会のもとカリキュラムの改善を実施しており、科目ごとに授業計画書と実績書を作成し次年度の授業改善に役立てているなどほぼ適切となっている。

評価：4とする。

3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。

⇒適切と判断する。

評価：3とする。

3-9-3 キャリア教育を実施しているか。

⇒キャリア教育は実施しているが、その効果について卒業生・就職先からの意見聴取が不十分である。企業にアンケート等を行い意見聴取してほしい。

評価：3とする。

3-9-4 授業評価を実施しているか。

⇒組織的に計画し実施されていると思う。

評価：4とする。

<p>3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化しているか。 ⇒適切と判断する。 評価：4とする。</p> <p>3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。 ⇒適切と判断する。 評価：4とする。</p> <p>3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置づけられているか。 ⇒適切と判断する。 評価：4とする。</p> <p>3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。 ⇒卒業後の指導については休日（オープンキャンパスなど教職員が出勤している日）を活用し指導やフォローを実践している。 評価：3とする。</p> <p>3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。 ⇒適切と判断する。 評価：4とする。</p> <p>3-12-2 教員の資質向上への取組を行っているか。 ⇒年間2回以上の研修（専門分野と教育力向上に関する内容）を義務化し、実施しているが、コロナ感染により対面研修が実施出来ずオンラインでの研修参加となったのは残念である。しかし、可能な限り有効な研修を続けてほしい。 評価：3とする。</p> <p>3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。 ⇒非常に学科が細分化されており社会のニーズに合わせた学科編成となっており、適切と判断する。 評価：4とする。</p>

4 学修成果

<p>4-13-1 就職率の向上が図られているか。 ⇒個別の問題として未就職は存在するが全体としての就職率は高く問題ないと判断する。特に専攻分野への就職率の高さは評価できる。 評価：4とする。</p>
--

<p>4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。 ⇒対面とオンラインを併用しての授業の中、合格率の維持は評価できる。 評価：4とする。</p> <p>4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。 ⇒卒業生の動向が把握できている状況ではない。昨年度に引き続き就職先企業の担当者メーリングリストを作成し卒業後の実態調査を推進してほしい。 評価：2とする。</p>
--

5 学生支援

<p>5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。 ⇒コロナ感染状況の中で、できる限りオンラインでの対応を企業へお願いしているようだ。 首都圏への移動が厳しい状況であるが、学生の就職活動に対し委縮しないよう支援（PCR検査の補助等）は更にお願したい。 評価：3とする。</p> <p>5-17-1 退学率の低減が図られているか。 ⇒組織的に対策が練られているようだが、精神的な障壁は難しい。プロのカウンセラーの協力をえることも重要となる。 評価：3とする。</p> <p>5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。 ⇒定期的にカウンセリングを実施しているが、今後も教員のきめ細かい対応が重要となる。 評価：3とする。</p> <p>5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか。 ⇒残念ながら1名の就職先が決まらなかった。もっと留学生が相談しやすい雰囲気や環境を整備することが求められる。留学生に対する教員研修を求める。 評価：2とする。</p> <p>5-19-1 学生の経済的支援体制を整備しているか。 ⇒適切と判断する。 評価：4とする。</p> <p>5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか。 ⇒適切と判断する。 評価：4とする。</p>

<p>5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか。 ⇒2019年度の建築サークルで全国専門学校建築教育連絡協議会主催の卒業作品展ポスターコンテストにて優秀賞を受賞したことで今後の建築サークルでの活動に期待したい。 評価：4とする。</p> <p>5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか。 ⇒2020年度よりオンラインでの保護者会を開催し、遠方の保護者も参加しやすくなったようだ。今後も参加率向上を図り、連携強化をお願いしたい。 評価：4とする。</p> <p>5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか。 ⇒校友会を組織し年一回総会を開催してきたが、コロナ感染拡大により対面での開催が出来なくなり書面による決議だった。やむを得ないと判断する。 評価：3とする。</p> <p>5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか。 ⇒文科省の中核的人材養成講座を開催しておりプログラム開発は十分と判断する。 評価：4とする。</p> <p>5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか。 ⇒2020年度も県立テクノスクールの委託訓練（長期人材育成コース）を募集し、2名受講することとなったことは評価できる。 評価：3とする。</p>
--

6 教育環境

<p>6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか。 ⇒概ね適切と判断する。 評価：3とする。</p> <p>6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。 ⇒コロナ感染の影響でほとんどが中止となっているが、やむを得ないと判断する。 評価：3とする。</p> <p>6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか。 ⇒学生・教職員一人一人への防災グッズの完備はされているが、行動マニュアルとともに新型コロナウイルス感染拡大防止マニュアルも作成してほしい。 評価：3とする。</p> <p>6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか。 ⇒複数の学校が混在しているため、戸締りに課題があるようだ。学校間での取り決めを行う必要あり。</p>
--

7 学生の募集と受入

- 7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか。
⇒適切と判断する。
評価：4 とする。
- 7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか。
⇒適切と判断する。
評価：4 とする。
- 7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか。
⇒適切と判断する。
評価：4 とする。
- 7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか。
⇒適切と判断する。
評価：4 とする。
- 7-27-1 経費内容に対し、学納金を算定している。
⇒適切と判断する。
評価：4 とする。
- 7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか。
⇒適切と判断する。
評価：4 とする。

8 財務

- 8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか。
⇒依然として18歳人口の減少と高校新卒者の就職状況などの外部要因の変動による影響が懸念されるが適切と判断する。
評価：4 とする。
- 8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか。
⇒適切と判断する。
評価：4 とする。
- 8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか。
⇒適切と判断する。
評価：4 とする。

8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

9 法令等の遵守

9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。

⇒教員だけでなく学生への指導を徹底するべきである。職員会等で検討してほしい。

評価：2とする。

9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。

⇒概ね適切と判断する。

評価：3とする。

9-34-2 自己評価結果を公表しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。

⇒概ね適切と判断する。

評価：3とする。

9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。

⇒適切と判断する。

評価：4とする。

10 社会貢献・地域貢献

10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。

⇒建築大工科による動物施設でのものづくり活動は評価できる。

評価：4とする。

10-36-2 国際交流に取り組んでいるか。

⇒コロナ感染により取り組みができなかったようである。やむを得ないと判断する。

評価：3とする。

10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。

⇒コロナ感染により取り組みができなかったようである。やむを得ないと判断する。

評価：3とする。